



図 25.7 体部白癬 (tinea corporis)

全体として遠心性に拡大し，中心治癒傾向がある紅斑性病変を形成し，周辺は堤防状に隆起する．

4. 体部白癬 tinea corporis ★

俗称は“たむし”である．体幹や四肢に紅色小丘疹として初発し，遠心性に拡大する．中心治癒傾向があり，全体として環状の病変を形成する（図 25.7）．中心部は軽度の色素沈着を残して軽快し，周辺は堤防状に隆起して丘疹や小水疱，鱗屑などを認める．痒痒がある．原因菌は足白癬と同じく *T. rubrum* が最も多い．

5. 顔面白癬 tinea faciei ★

類義語：白癬菌性毛瘡^{もうそう} (sycosis trichophytica, tinea barbae)

顔面に生じた白癬をいう．痒痒を伴う環状紅斑が出現し，遠心性に拡大する（図 25.8）．湿疹と誤診したステロイド外用薬治療でさらに悪化する．足白癬などから播種されて発症することが多いが，若年者ではイヌやネコに寄生する *Microsporum*

異型白癬 (tinea incógnito)

MEMO



白癬疹 (trichophytid)

MEMO

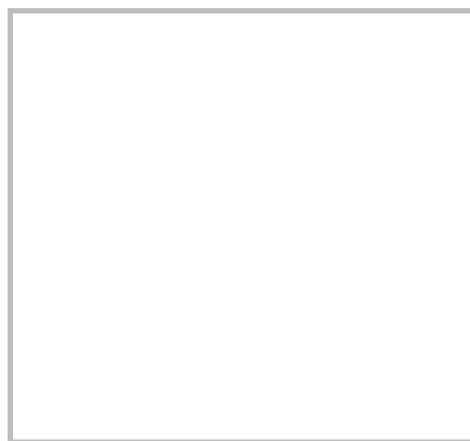


図 25.8 顔面白癬 (tinea faciei)



図 25.9 白癬菌性毛瘡 (sycosis trichophytica)